

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
渡邊主幹	<p>(農業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・① 7行目、担い手についてまとめたものに変更 19行目、新たな高収益作物を追加 ・② 文言を整理 ・⑤ 担い手対策及び花嫁対策－追加 農地流動化対策－農業生産法人の部分を変更 みらい農業センター－追加 グリーンツーリズム－整理
佐藤部会長	③の農村地区環境の地球温暖化防止の内容は。
渡邊主幹	エコファーマーの認定や農薬の低減に取り組んでいる。
佐藤部会長	コントラクター事業の推進は、一企業がしている様な内容だが農家の中で集団化はしていないのか。
渡邊主幹	集団化には至っていない。今は、企業が行っている。
佐藤部会長	JAで労力のとりまとめなど行っている。
渡邊主幹	第6期では、前期の計画を継承しつつ、担い手対策に力を入れていく。
城委員	今後、コントラクターは重要になっていくと思うが、町として何を支援していくのか。
広島部長	民間の企業だけではなく、組織として作る必要がある。が、現農業者ではコントラクターは難しく、リタイヤした方を中心に出来るかということも難しい。人口減少していく中、農地を守り、人手を確保するには関係機関と協議して計画的にコントラクターを整備しなければならない。
城委員	JAびほろでも最重要課題。小麦や人参の工場も広い意味でコントラクター。現場でも工場でも人手不足。
広島部長	将来的には従業員としての受け入れをする事になるが、従業員の育成を農業OBの方にしてもらうなどの組織作りが必要。法人化し、従業員として受け入れる。その一方、従業員の冬の仕事や作業機械の確保などの課題もあり、JAとは相当の協議が必要になる。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	農業関連施設はどこも同じ事が言える。
広島部長	人口減少で働き手が居なくなる中、現状維持するために方策が必要。
城委員	農業の法人化も最重要、最優先課題。 クリーン農業でエコファーマーに触れているがギャップも入れた方がいいのではないか。
佐藤部会長	ギャップとは簡単に言うとハイレベルなクリーン農業のこと。安全基準が厳しい。相当の覚悟と意欲がないと取り組めない。ハードルが高い分注目されている。ギャップを行った品物は格が上がり売れる。
広島部長	基準をクリアして認証を受けるもの。戸数は多くない。最終的には消費者の安全安心のため。
佐藤部会長	GPSや自動操縦がにわかに流行っているが、全然計画に掲載されていない。
渡邊主幹	掲載の検討をしたい。
佐藤部会長	人の数が減ってくるので自動化で負担を減らし、レベルを上げていく。
阿閉委員	GPSの導入率は。
城委員	まだ始まったばかりだが、30～40人くらい。
佐藤部会長	一人で2、3台持っている人もいる。誤差は2、3cm。精度をあげるため、衛星とJAびほろの中継局、両方から受信し適正値を割り出している。
城委員	町が導入すれば除雪や救急にも使用出来るのではないかと。
広島部長	農業については、10年先を見据えたら、人と農地の問題が大きい。
佐藤部会長	人口減少や農家の戸数が減っていく中、6次産業化は難しい。現状維持で悪戦苦闘している。これから辞めていく人の所をどう埋めていくか。農家の数は減らしたくないが後継者不足などでどうしようもない部分もある。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島部長	離農者の土地を残りの農家でカバーするのは手が回らない。条件不利地は最終的に山林に戻しに国土保全していくことも考えられる。
佐藤部会長	機械の入れない畑は受け継ぐのも厳しい。観光農園や町の人に貸すなどはどうか。
城委員	色々な事情で農地を手放すので、お金を掛けて山に返すとはならない。荒らして終わりになる。
広島部長	森林組合の協力が必要。
阿閉委員	山を持っている人は転用して木を植えている。山の知識が無い人がそのまま放置している。
城委員	年配の自分の代で辞めようという人は畑の改良をしない。町に近くても土地に投資をしていないので買ってくれない。
城委員	P 9 0 の地場産農産物の消費推進の「J A 女性部による直接販売所の設置」は間違い。別途協議会を立ち上げて運営している。
渡辺主幹	確認して修正する。
佐藤部会長	P 9 1 の多面的機能支払事業の推進について、それぞれ地域で取り組んでいるが、拡大するような事は考えているのか。
伊成主幹	来年に向け全地区に対応出来るよう努力している。
佐藤部会長	私の地区でも始まった。輪を広げていきたい。
城委員	町が主催で子ども農業学校を行うのか。
広島部長	開催場所について行政で提供していく。実施していない東陽小学校について、農業センターの用地で実施できないかと検討中。
城委員	町が主催ではないのであれば「開催に努めます。」という言葉では誤解を招く。
広島部長	基本計画は全て行政がやる事ではない。民がやる事もある。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
林委員	民が民でやる事に行政が口を出すのはおかしい。
広島部長	基本計画に役割分担を掲載するのなら別だが、例えば中心市街地の活性化では民が行うことが多い。ではそれらを全て掲載しなくて良いのか、ということにもなる。行政の関わりは別として美幌町の姿として望ましいのが総合計画だと考えている。
林委員	未来の姿としてなら良いが、総合計画という言葉を考えてると違う気がする。
竹下主査	第5期美幌町総合計画では、実施計画の中で役割分担を明記しており、そこには民だけの事業も掲載していた経過もある。総合計画は皆さんの理解のとおり行政計画なので、第6期では表現によって実施主体に誤解を招かないように掲載していきたい。
佐藤部会長	農業館についての記載がないのはなぜか。
広島部長	博物館に統合されている。
辻主査	<p>（地場産品）</p> <p>検討シートに基づき②、⑤について説明</p>
城委員	地場産品も色々あるが、食品に限って言えば食品加工開発センターのような研究開発機関を行政で整備すべき。まともな厨房も無いのに開発は無理がある。みどりの村にある施設等を有効活用できないだろうか。
広島部長	みどりの村の設備をグレードアップするのが手っ取り早い。販売となると保健所の許可をクリアするためかなりの改修が必要になる。現状では肉などの生ものを扱えない。行政や施設で果たすべき役割などを今年設置のみどりの村在り方検討委員会で検討を図る。
城委員	笑顔プロジェクトに有資格者がいるので色々な加工が出来る。商工会議所の一角では手狭。町として加工品を特産品として本気で取り組むならしっかり対策をすべき。
広島部長	研究の在り方を協議し整理する必要がある。オホーツク食品加工技術センターの支援を仰ぎながら連携体制を取る。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
城委員	大空町は道の駅の裏に施設を持っているので話を聞いてみては。運営は難しいかもしれないが。
佐藤部会長	地場産品に行政が関わって上手くいくだろうか。利益配分の問題等はないか。
広島部長	協議会で役割分担をきちんと整理する。
城委員	原料が数多くあるので、新規の特産品開発は難しい。
阿閉委員	3次、4次、5次加工とその方向で行くくらいじゃないと厳しい。
広島部長	最後はアイデア勝負になる。
城委員	特産品の販売イベントへの助成を行っているが、開発の初期投資にお金が掛かる。特産品が出来てからの話では。
広島部長	起業家支援の制度利用者が製品化して販売する時にはイベント助成などの支援制度を使って頂く。先を見据えた起業しやすい環境の一つ。初期投資への支援も別途行っている。
城委員	国の6次産業事業はハードルが高い。美幌町が後押ししてくれるといい。ロゴなどのデザイン料だけでもお金が掛かる。
林委員	デザインを高校生に依頼するのもいい。
広島部長	専門に協議していく組織が必要になる。
佐藤部会長	はじめての木づかい事業で先日、孫の誕生日に木のお魚セットが送られてきた。美幌町の木を使っている。役場にサンプルを飾ってみては。
城委員	住民窓口がいいと思う。
広島部長	4種類ありスペースを取ってしまう。道庁のロビーに飾っていただける予定。
辻主査	(観光、交流) 検証シートに基づき②、⑤について説明

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
阿閉委員	「道の駅」などの集客施設の整備」だが、新設で検討して欲しい。
広島部長	町の中に2つ目の道の駅のような集客出来る施設が必要という事で新設を含めて検討するという事。町長マニフェストにもこの項目がある。
林委員	美幌町観光振興革新戦略とは実践的な戦略をこれから立てるという事か。色々な方を抱き込んで行うのがいいと思う。
広島部長	第1次の振興計画が今年度で終了。平成28年度からスタートする観光計画を樹立する。一般公募2名を含め16名の委員でやっていく。
辻主査	総合計画の内容を踏まえて観光計画に盛り込んでいく。
林委員	景観的な部分で、ビューポイントや鮭が見られるなど観光で少し寄ってみようかなと思ってもらえるものがあればいいと思う。観光客はそういう情報が欲しい。
佐藤部会長	宿泊施設の誘致だが、出来ないのであれば、ホームステイやファームインはどうか。
広島部長	アジア圏の観光客をどう美幌に呼ぶか。バスをチャーターした団体客にもなるので、きちんとした宿泊施設を持たないと誘致が難しい。現実的にはかなり厳しいが観光振興を図る上では宿泊施設はどうしても避けられない。こういった手段が良いか追求していく必要がある。
林委員	後から付いてくる気もする。魅力ある地なら泊まってくれる。観光客を繋ぎ止める施策の方が大事だ。
城委員	夏祭りと和牛観光祭りを土日で続けて開催すれば泊まってくれる。
広島部長	宿泊業とすると年間の稼働率が相当高くないとペイしない。年間通していかに美幌に足を運ぶかを実績として作っていく。年間の戦略を持てるかが課題。
城委員	宿泊施設は、7割の稼働率がなければ厳しい。
阿閉委員	民間宿泊施設の耐震の関係はどうなのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島部長	ボーリング場を無くしてしまえば耐震要件が外れるとのこと。
林委員	ホールがあるので何かする時に意外に便利。
広島部長	バンケット機能を持ったホテルの誘致は難しい。
林委員	1泊2万するが、ホテル清里のように食事、温泉、景観など何かに特化するのも良いと思う。道外の方は北海道産の物なら喜ぶ。
阿閉委員	サラリーマンの宿泊施設を考えていくのか。
林委員	観光客なら高級なものも良いと思う。美幌は北見に近いし繁華街もあるので北見に泊まってしまう。そこが一番のネック。
城委員	職場内で宿泊施設について議論になった。観光客が来るのを待ってから建てるのか、建てておいて来させるのかで意見が分かれた。
林委員	ターゲットによる。
城委員	サラリーマンがターゲットなら今すぐにでも建てられる。JAに来るお客さん年間何百人も北見に取られている。観光客がターゲットなら今建てても意味がない。
林委員	峠の湯に宿泊施設は付けないのか。
佐藤部会長	町から遠い。
城委員	美幌に泊まる施設がないと認識されている。
広島部長	行政が中心となつての誘致は難しい。条件がある程度揃わないといけない。条件づくりをいかに上手くできるか。
佐藤部会長	観光振興戦略にも期待したい。